

社協だより

しらいわ



《編集・発行》
白岩地区社会福祉協議会
会長 渡邊正則



隣人愛を大切に

白岩地区社会福祉協議会

会長 渡邊正則

山々の新緑がまぶしくすがすがしく感じる季節となりました。常日頃、当社会福祉協議会にご指導ご支援を頂きましてありがとうございます。

さて近年、家族形態が急速に変化し核家族が進み単身世帯、高齢者世帯が多くなっております。その中でも元気で暮らしている方が多数ですが、年を重ねるに従い足腰が弱くなり外へ出るのもためらっている方も少なからずいらっしゃいます。私たち民生委員・地域福祉推進員は、定期的に各世帯を訪問し健康状態を確認しながら孤独・孤立を防ぐ活動をしております。人間は生まれ持って、人と人・心と心を繋ぐお互い様の心を誰でも

持っていると言われております。隣組、町内会、地域の人達が隣人愛のもと顔と顔を合わせ、なにげない話をすることが大きな福祉活動になると思っています。

私たち、社会福祉協議会は、皆様のご協力を頂きながら、これからもこの地域で安心して暮らせるようにしていきたいと思っておりますので、どうぞ宜しくお願いいたします。



各町会 見守りネットワーク お気軽にご相談ください

令和8年度 白岩地区社会福祉協議会

役職名	氏名	役職名	氏名
会長	渡邊正則	常任委員	保科俊弥
副会長	菊地吉彦	会計事務局	兼子健司
副会長	大沼真理子	監事	長谷川健司・菖蒲清一

町会名	町会長	民生委員児童委員	地域福祉推進員
陣ヶ峯	奥山健一	菖蒲清一	井上美枝子
新町	菖蒲清一		鈴木弘見之
中町	保科俊弥	那須美和子	大沼友勝
上町	大沼三郎		大野尻美子
麓	木村恒彦	宮林篤	中村和子
上野	寺崎達朗		寺崎徳子
宮内	長谷川健司	兼子健司	鈴木由美子
楯留場	佐藤俊文		鈴木和加子
田代	大沼米男	渡邊正則	設公楽平
幸生	佐藤勝則		菖蒲弘美
	菊地吉彦	永山進	菖蒲美佐子
			宮佐京子
		郷野綾子	永井興清
			永井清廣
主任児童委員		大沼真理子	

みんなで守る安心の絆



白岩地区町会長連合会
会長 菊地 吉彦

令和八年度白岩地区町会長連合会会長・白岩地区社会福祉協議会副会長として勤めることになりました。幸生町会長の菊地吉彦です。

地域の皆様には、常日頃より、白岩地区としての事業、更には、社会福祉活動に多大なご理解とご協力をいただきまして心より感謝申し上げます。

各地区町会におきましても、特色ある地区行事を通して地域住民の親睦と融和のもと、一人ひとりお互いの絆を強く感じられる様子には大きな感動を覚えます。また、当地区社会福祉協議会活動におかれましても、民生委員、主任児童委員、地域福祉推進員の皆さんには、特に地域の見守り役として地域福祉の向上にご尽力をいただいております。その地道な日頃の活動により温かい地域の絆が守られていることに改めて感謝を申し上げます。次第です。今後共、宜しくお願い申し上げます。白岩地区町会長連合会、各町会といたしまして、社会福祉協議会の皆様と連携を図りながら、一人ひとりが安心して暮らせる地域づくりを努めてまいりたいと考えております。

学校訪問(白岩小・陵西中・しらいわ保育所)



陵西中での授業通覧

安心できる地域生活を目指して



宮内地区地域福祉推進員
設楽 ひと美

月一回一人暮らしの高齢のご家族へ、民生委員さんと地域福祉推進員二人で交互に訪問し、体調や生活の状況をお聞きしています。さらに年二回、区長さんと民生委員さんを交えて地域の中で困っている方はいらっしゃらないか、問題点はないか等の話し合い(三者会談)も開いています。

訪問しますと、ある方は「家の前を通る小学校通学の子ども達に『おはよう！気をつけて行ってらっしゃい』と毎朝笑顔で声をかけ手を振るのがとても楽しみ」また「猫二匹いるので忙しくて寂しくない生活です」「少しですが畑仕事をしていますし、新鮮な野菜を食べるのが楽しみです」など、体調と相談しながら楽しみを見つけて生活されています。楽しい事ばかりではなく、様々な事を誰しも経験されたのではないかと思います。それでも今、毎日の生活を大切にされているお姿は素晴らしいなど尊敬の思いが生まれてきます。

都会のように

隣家の方の顔も知らないという生活より、地域全体で時々声をかけ支え合って、少しでも安心できる生活を送れるようなお手伝いができれば嬉しいと思っております。

一日研修会(川西町・長井市)



長井市・遊びと学びの交流施設「くるんと」

私が白岩小に入学した六十年前、一年生は六十六人でした。加えて畑分校生五人。幸生小と田代小は勿論別々で、合わせて三十人くらいかな。つまり白岩に一年生だけで百人以上いたというわけです。それが今、白岩の小学生全体の数が、たった五十九人に激減してしまいました。

多い少ないが、イコール良い悪いではないけれど、何とも寂しく切ない思いです。さくらっこクラブがきっかけとなって、学童保育さくらっこクラブが立ち上がりました。私は、設立当初よりクラブ運営に携わらせていただいております。利用児童数十人からのスタート。二十年目の今年、利用児童数は三十六人です。平日は放課後十九時迄。夏休みや春休みは朝八時十九時の一日保育です。コロナの時期は学校が休みでも学童保育は休みにできず、それこそ連日の一日保育には苦勞しました。

二十年間、地域の方々には大変お世話になりました。町内会・婦人会・民生委員や更生保護女性会・桶若葉クラブ・みどりの会等、他大勢の皆さん方です。感謝申し上げます。

季節の変化が美しい、この自然豊かな白岩の地のびのび育ち、素晴らしい個性と能力を活かして各方面で活躍する未来の子ども達を想像しつつ、成長を見守っていきたいです。

白岩の子ども達 昔・今・未来



学童保育さくらっこクラブ支援員
野尻 紀美子

学童保育支援



「さくらっこクラブ」花壇の植栽